

第7回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年3月12日 15時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配付資料

第7回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

○東内閣府副大臣

- ・本日、福島、宮城両県を菅総理が上空から視察した。
- ・自衛隊2万人から5万人で対応することにした。
- ・被災から72時間がポイントで、残り48時間でどれだけの人命が救助出来るか。特に南三陸町、女川町など。女川町はアクセス出来ない。牡鹿付近もアクセス不可。
- ・石巻市を中心に救助に全力を挙げている。
- ・被災者の食料、水、ストーブやA重油等、出来る限りの要望に対応したい。
- ・重油はN T Tに御協力いただいたが、枯渇は時間の問題。
- ・ストーブ、練炭等受け入れているが、輸送困難となっている。

○村井災害対策本部長

- ・役場の支援についてはどうか。

○小野寺危機管理監

- ・災害対策本部では南三陸町と連絡がとれない。
- ・女川町では、女川第一保育所に職員がいる。
- ・女川町の災害対策本部は女川第一中学校に置かれており、町長も居る。防災携帯電話で連絡が取れる。

○仙台管区气象台

- ・大雨警報、注意報基準の暫定的な運用について（資料内容）

○今野総務部長

- ・県庁への避難者、職員安否、施設被害等の状況（資料内容）

○佐藤企画部長

- ・総務省から、市町村長が行方不明や連絡不通の場合は随時教えて欲しいと連絡があ

ったので、そういう情報があった場合は、企画総務課に連絡して欲しい。

○村井災害対策本部長

- ・南三陸町，山元町の町長に携帯電話で電話しているが，全く繋がらない。

○小泉環境生活部長

- ・職員安否，女川原発，水道施設の状況等（資料内容）
- ・火葬の準備と合わせ，重油も必要となる。
- ・南三陸町，女川町の廃棄物処理については，他に持っていくことが困難なので，その場で処理したい。国でも検討願いたい。

○東内閣府副大臣

- ・了解した。

○河端経済商工観光部長

- ・各課所管施設等の被害状況（資料内容）

○千葉農林水産部長

- ・支援物資の要請状況等（資料内容）

○橋本土木部長

- ・土木公共施設等の状況（資料内容）

○千葉病院局長

- ・県立病院の被害状況（資料内容）

○竹内警察本部長

- ・死者149名，負傷者166名，不明18名。生存者を優先し，ヘリ6機にて救助中。

○村井災害対策本部長

- ・ガレキ対応については，自衛隊の協力は得ているか。ガレキの下に生存者が居る場合もある。

○竹内警察本部長

- ・協力いただいている。

○自衛隊

- ・3隊676名活動中。全体1，600人規模。

○東北電力（株）

- ・今回から出席させていただくことになった。
- ・停電等の状況（資料内容）
- ・大変被害が大きく、特に太平洋側。日本海側から送電していく予定。

○小林教育長

- ・県立学校の休校、入試等について（資料内容）

○伊藤企業局長

- ・上水で7箇所、工業用水で4箇所漏水。業者数を増やして復旧中。

○村井災害対策本部長

- ・大津波警報が解除されていない状況ゆえ、二次災害にならないよう人命救助優先で対応してほしい。
- ・必要な予算については、予備費を補正予算で対応していく。公所にも徹底してほしい。
- ・3月15日の議会閉会日に予備費の追加提案を行う方針。財政課から所要額の照会があるので、すみやかに協力を願う。
- ・避難住民からの要望全てに応えることは難しい状況である、特に薬の問題。妊婦の方々を優先して対応をお願いしたい。
- ・食料について、新潟県知事から連絡があり、国から県、県から市町村、市町村から避難住民へ行うと非常に混乱する。要求するときは、どの場所に何人必要かという形で直接要求する方がいいということだった。自衛隊の体制が整うならば、温かい食事を提供してもらった方がいい。その方が被災者の方々が元気がでるとのことだった。
- ・避難所者数については、夜数えるのと朝数えるのとでは、数が大きく違ってくるとのことだった。朝家に帰った人が夜避難所に戻るので、夜の人数を教えてください。
- ・48時間が勝負なので、行方不明者の救出を優先してほしい。
- ・国、都道府県からの支援申し出があるが、その調整は大変。全国からのボランティアの受入れについて、泊まる場所、食事の問題の対応ができていないので、準備が整うまでもう少し待つて頂きたい。物は配布するのに大変なので、義援金での対応をお願いしたい。マスコミの方、宜しくをお願いしたい。

次回は3月12日19時00分に開催する。